



上田 芳伸 UETA, Yoshinobu

1949年生まれ

専門分野 戦略企画、プロジェクト管理、生産管理、生産技術

「事業開発マネジメント専攻」への抱負
ヤマハ株の実務28年間で培った、幅広い実経験を活かし、
事業トータルを見切れる人材を育成していきたい。

経営戦略論、財務マネジメント論、テクノロジー・マーケティング
を担当します。

専任教授

静岡県内の企業を事例にして、「如何にやるか」等の方法論ではなく、
「何のために」「何をやるか」という目的意識を持って頂くように
「ご自身で気づく」支援（コーチング）を目指します。

< 学歴 >

- 1972 慶應義塾大学工学部機械工学科卒業
- 1974 同大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了
- 1977 慶應義塾大学工学研究科機械工学博士課程終了
工学博士 材料の破壊を研究（高分子 & 複合材料の強度を研究）

< 職歴 >

- 1978 日本楽器（株）入社
モノづくり開始
生産技術部にて、専用機 機械設計を手がける

新開発・新規事業立ち上げ、ビジネス活動実践

- 1983 ヤマハ産業用ロボット開発
- 1985 ロボット外販開始 生産・販売・アフターサービスを担当

海外生産拠点探索

- 1988 生産企画部 企画調査担当
海外生産シフトに伴う事前調査及び企画（アセアン地域）p/j担当
マレーシア工場立ち上げ

全社改革・風土改革実践

- 1992 経営改革推進本部 & 経営企画室
NYP (New Yamaha Plan)本部に事務局担当
全社商品責任者会議事務局担当

全社経営実践

- 1996 生産技術統括部 技術開発部 CAE 推進室担当
全社の開発部門の開発環境インフラの整備を本格化
メカCAD、2D-CADを全社統一、3D-CADを本格導入
電気CAD、全社統一
ヤマハホームページ企画正式公開
インターネット時代対応

全社経営 構造改革

- 2001 **生産構造改革**を本格開始 生産戦略推進 p / j 事務局担当
TPSを積極的に開始
- 2002 セル生産をはじめとする各生産革新活動が定着化
- 2003 **原価管理制度改革**プロジェクト事務局担当
- 2004 **開発戦略**担当
ヤマハグループ全体の開発戦略、
事業再構築の全社プロジェクト事務局担当
- 2006 3月末 退社

< 受賞歴 >

- 1987 科学技術庁 注目発明（工業ロボット分野）選定証

< 社会的活動 >

- （社）中部経済連合ベンチャービジネス支援センターアドバイザーボードメンバー